

2024年7月版

25卒理系院生1,979名
就活動向調査

サマーインターンの重要性がより高まる結果に

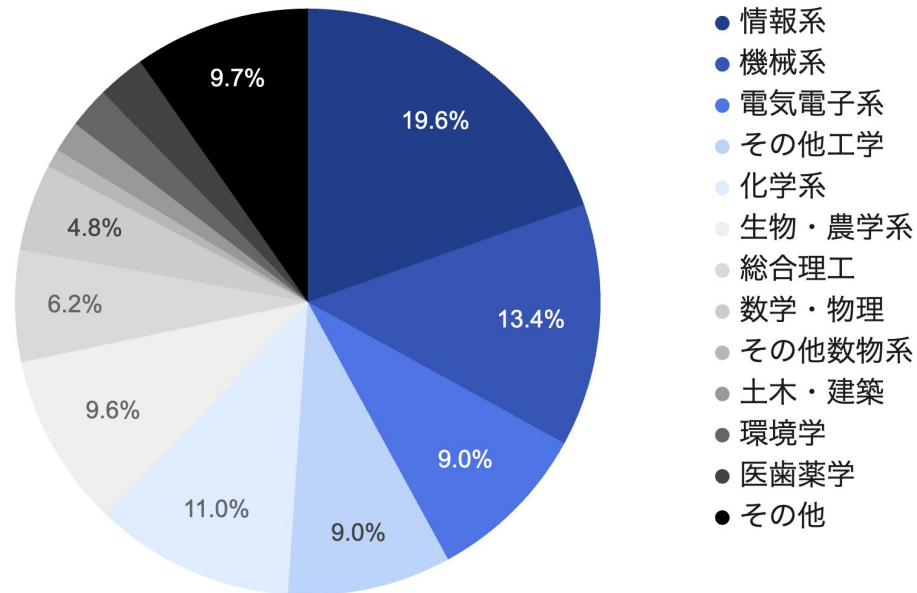
- ・ エントリーは昨年に引き続き、より絞り込む傾向に
- ・ 約70%の学生が就職活動を契機に、入社予定先の企業を知る
- ・ 学生の内定獲得数はやや上昇し、より熾烈な採用市場に
- ・ 70%以上の学生が3月までに内定を獲得と、引き続き早期化傾向
- ・ 企業の早期化傾向に伴い、学生の意思決定もやや早期化
- ・ 内定承諾先へのインターンシップ参加割合は増え、特に夏への参加が伸長

- 00. 調査対象
- 01. 理系院生の就活動向
- 02. 内定状況と入社先決定時期
- 03. 内定承諾した企業との接触
- 04. 内定承諾に影響する要素

00. 調査対象

調査対象

実施期間	2024年7月8日～2024年7月19日
調査対象	学年：25卒理系院生（修士2年生） 対象：LabBase就職ユーザー1,979名 （専攻不問）
回答者専攻	右記グラフ参照



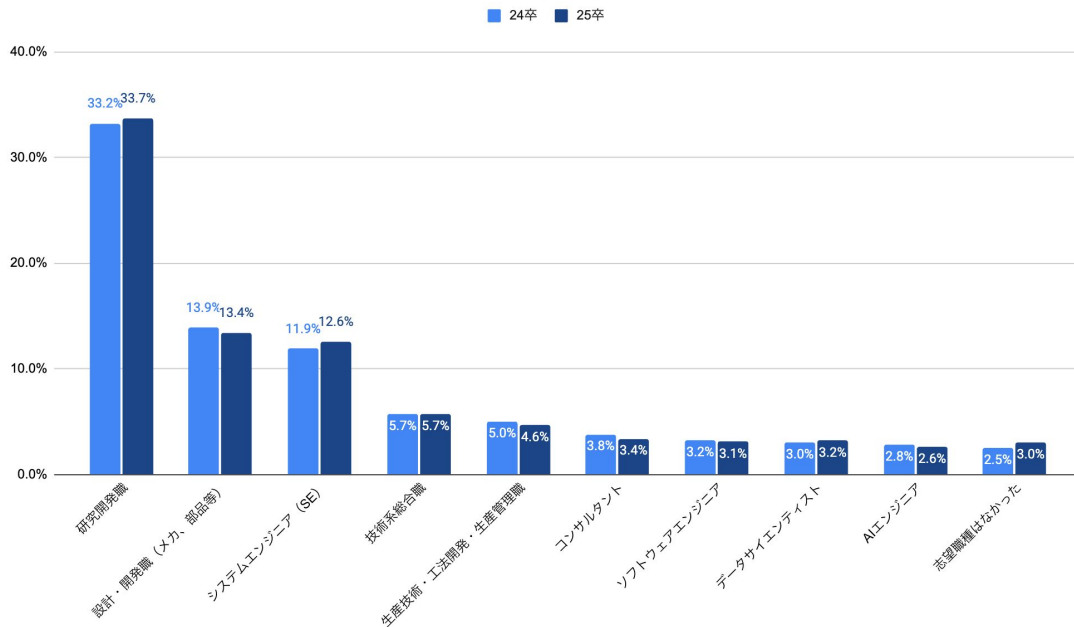
01.

理系院生の就活動向

- 第一志望の職種は？
- エントリー社数は？
- 面接数は？
- インターンシップへどれくらい参加したか？

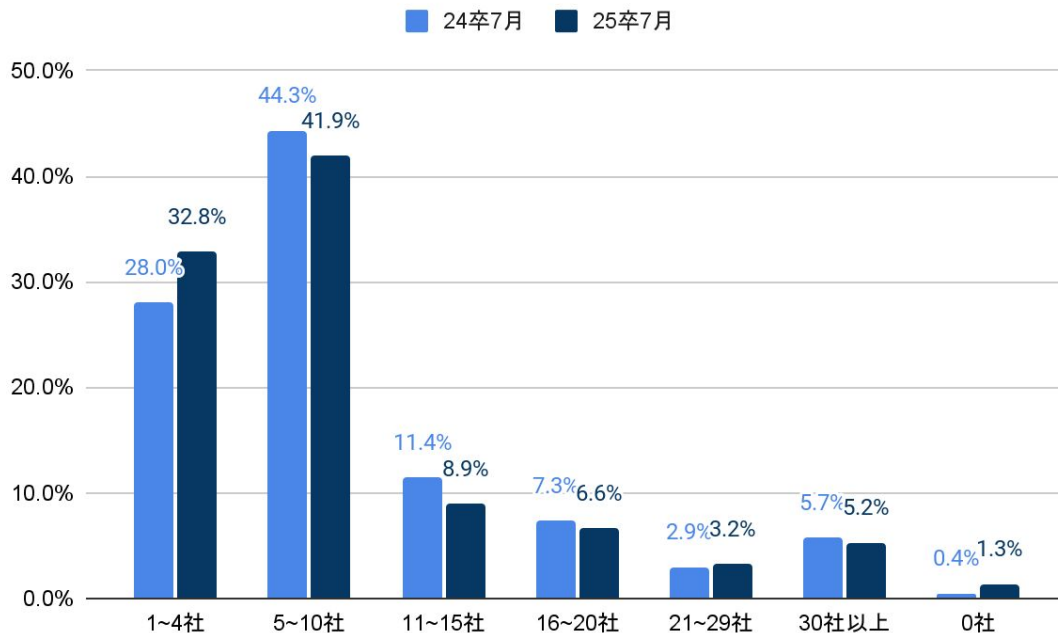
昨年調査と変わらぬ結果に。 研究開発職、設計・開発職、システムエンジニアが上位を占める。

志望職種についてお聞きます。本選考において、第一志望の職種をお選びください。（単一回答）



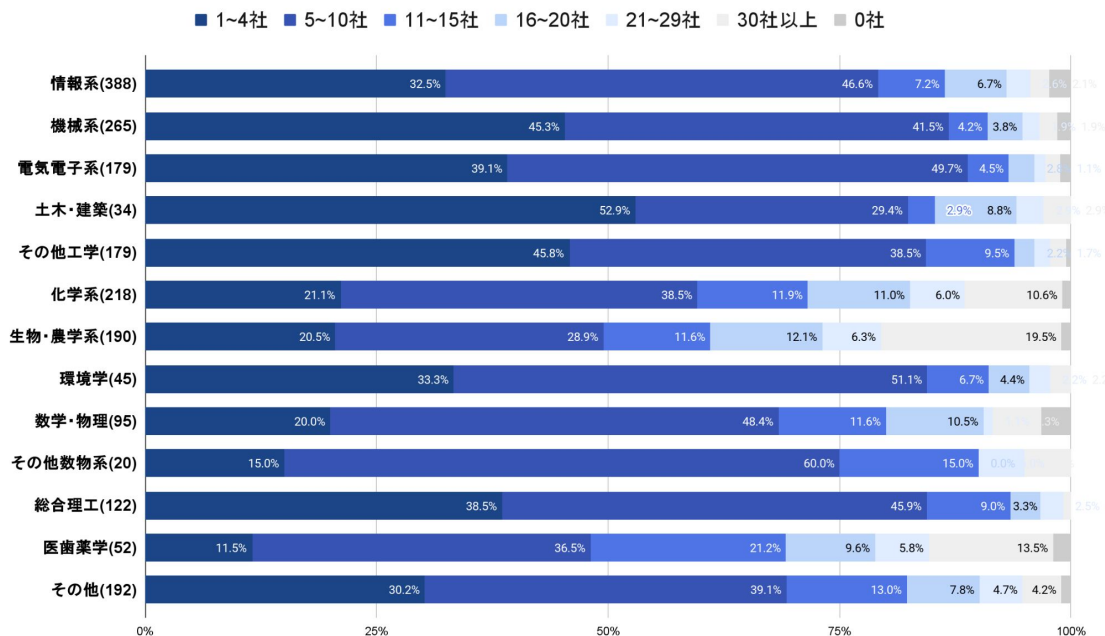
昨年に引き続き絞り込みの傾向。 10社以内のエントリーが74%、1～4社が4.8pt増。

就活全体でエントリー（本選考への応募）をした社数を教えてください。（単一回答）



特に機械系で1~4社エントリーの割合が高まる。

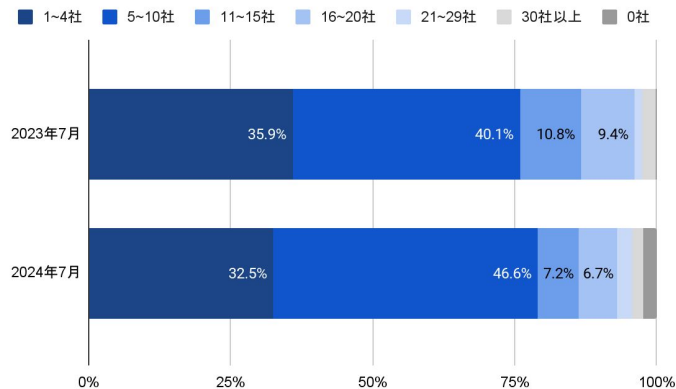
就活全体でエントリー（本選考への応募）をした社数を教えてください。（単一回答）



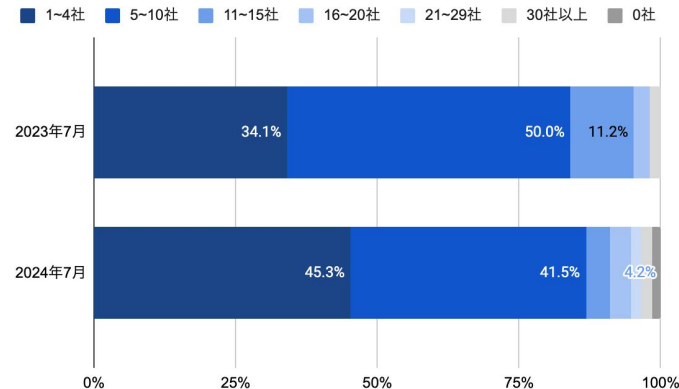
【専攻別】就活全体でのエントリー社数昨年比（情報系・機械系・電子電気系・化学系）

情報系以外のカテゴリではより絞り込みが顕著に。

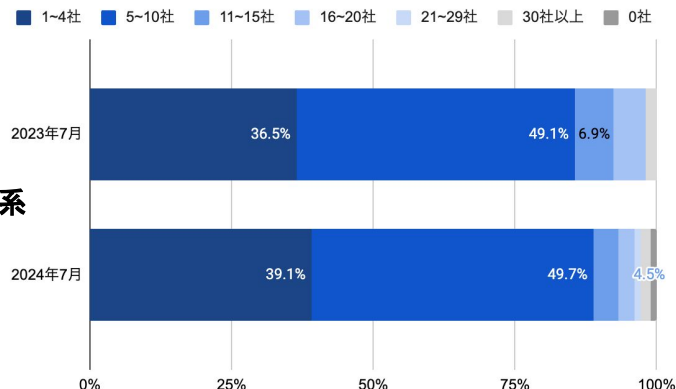
情報系



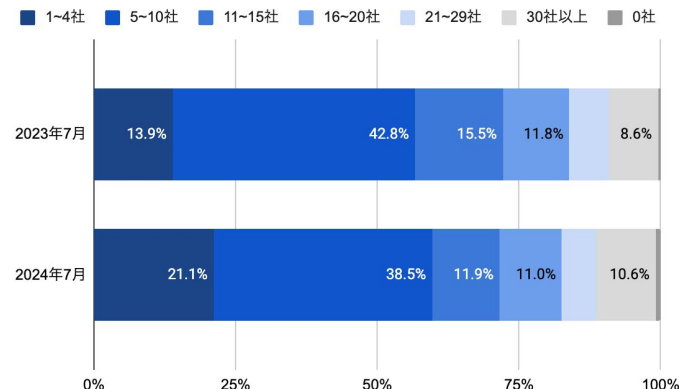
機械系



電気電子系

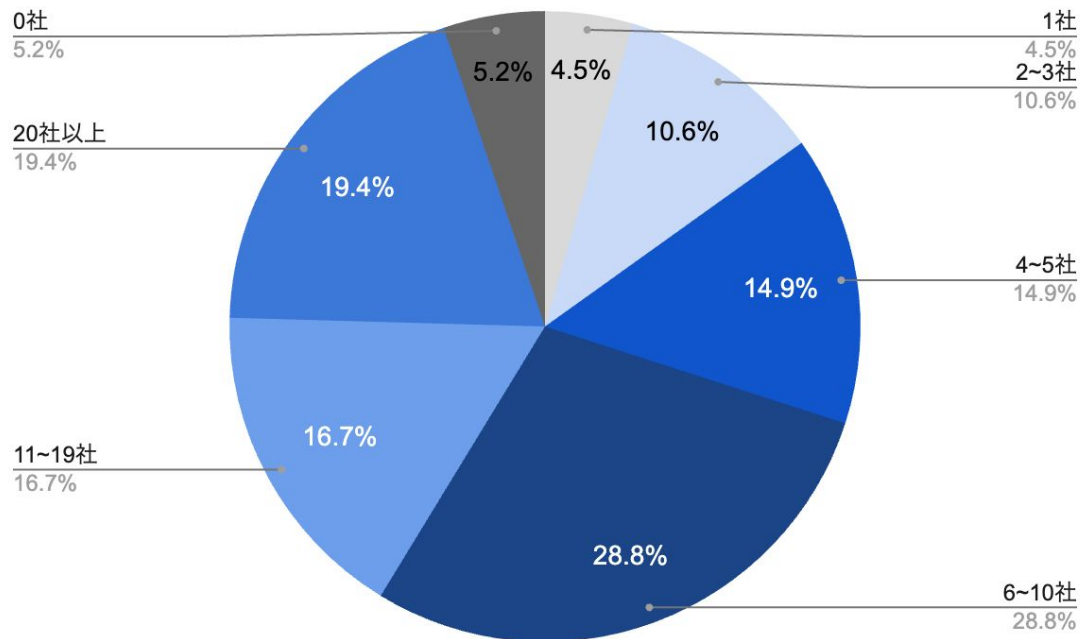


化学系



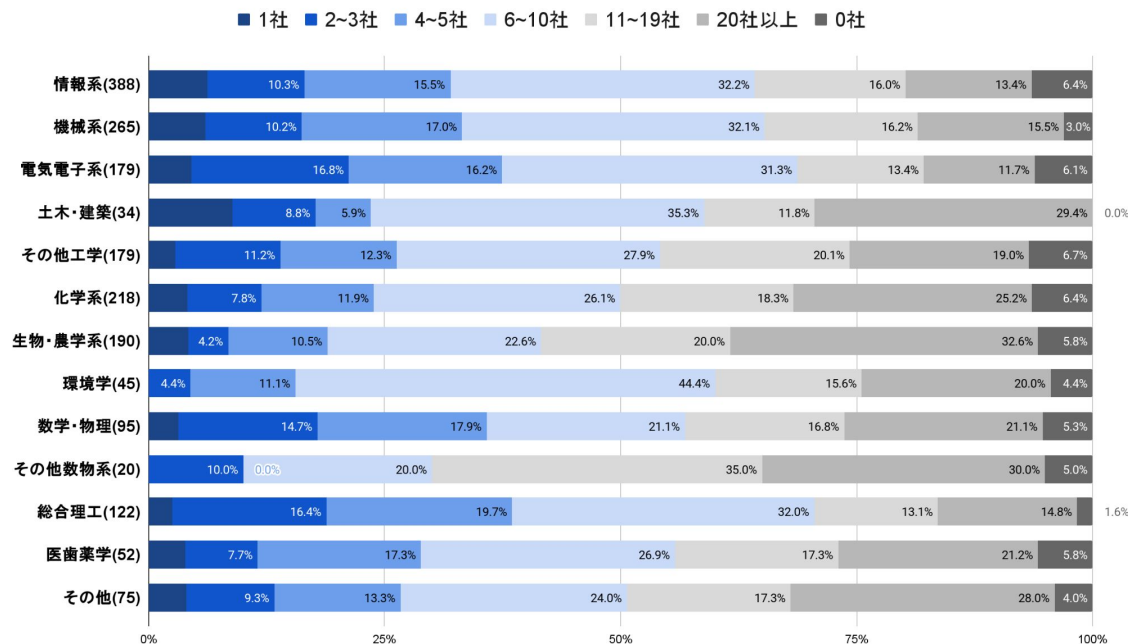
約95%の学生がインターンシップ・仕事体験に応募 約65%の学生が6社以上に応募

就活における全期間で、可否問わずインターンシップ（1dayや説明会も含む）に応募した社数を教えてください。（単一回答）



専攻別でもボリュームゾーンは6～10社。

就活における全期間で、可否問わずインターンシップ（1dayや説明会も含む）に応募した社数を教えてください。（単一回答）



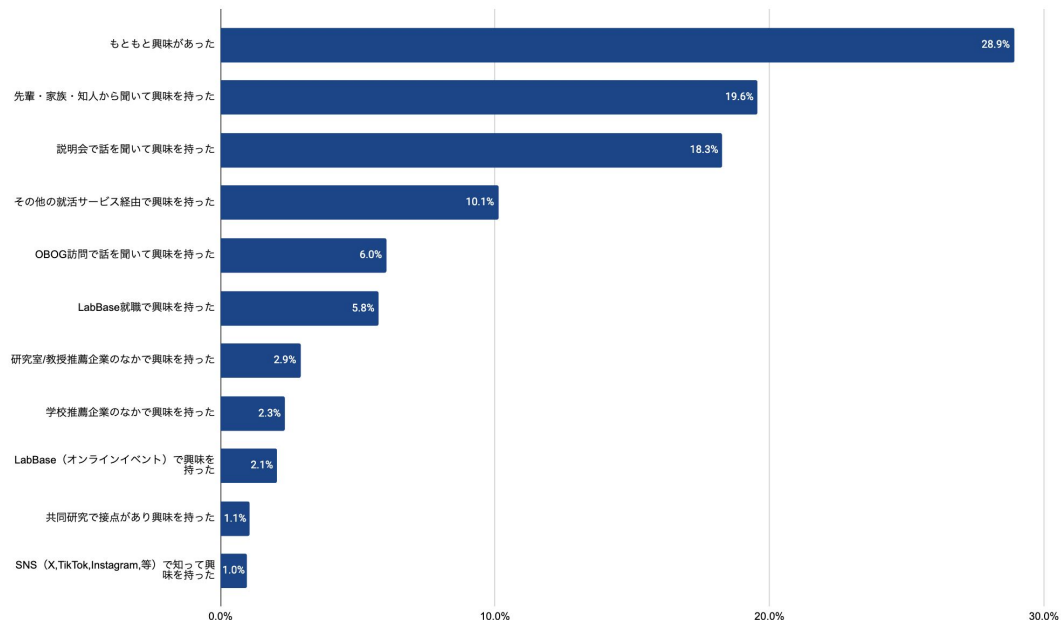
02.

内定状況と 入社先決定時期

- 興味をもつきっかけは？
- どれくらい内定を持っているのか？
- いつから内定をもらい出すのか？
- いつ入社先を決めているのか？

就活前に認知されていなくてもチャンスは大いにある 70%以上の割合で就職活動に関連した何かしらのきっかけで興味を持つ

入社予定の企業に興味を持つきっかけとなったものを教えてください。（単一回答）

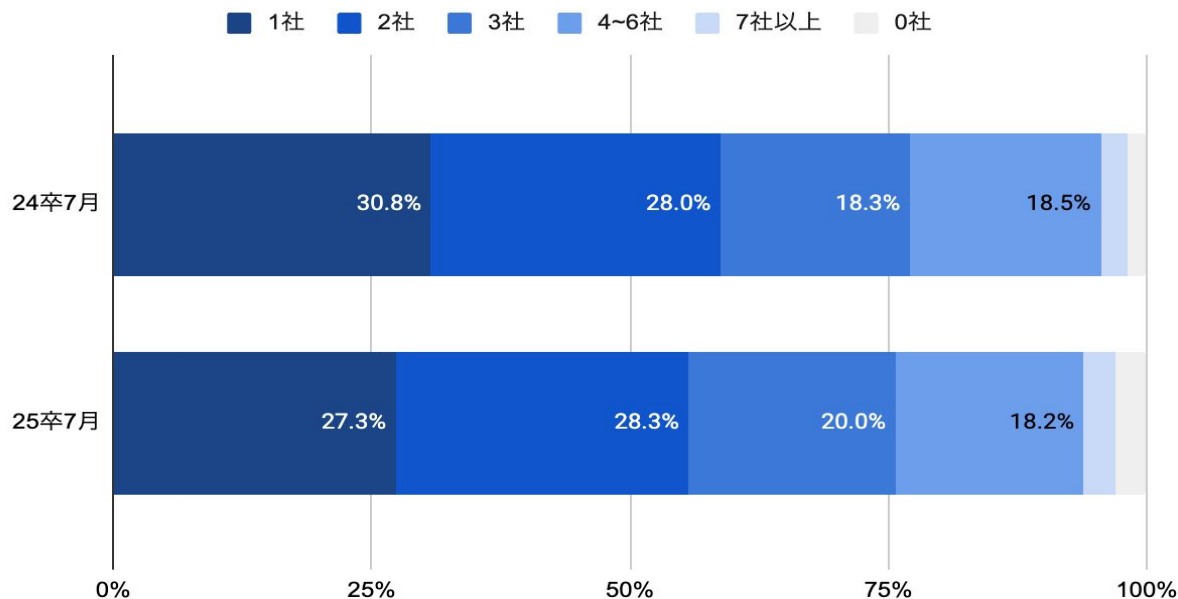


参照：2024年7月 25卒理系院生1,979名 就活動向調査（n= 1,788）

※上位10項目のみ抜粋

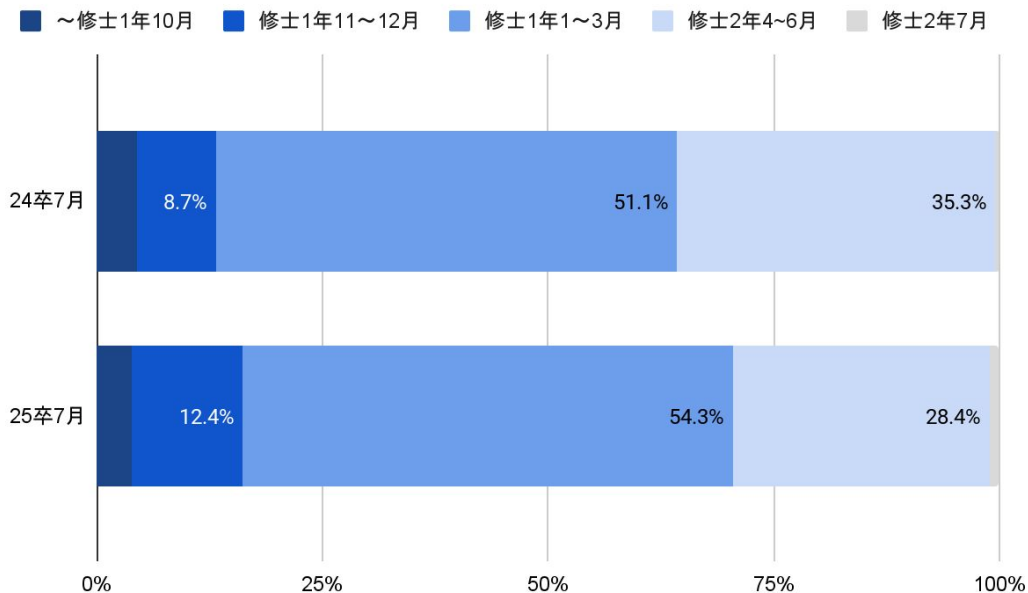
内定獲得率がやや上昇、より熾烈な採用市場に エントリーを絞り込む傾向にはあるが、複数保有の割合がやや上昇。

何社の内定を持っていますか？（承諾済み・辞退も含みます）（単一回答）



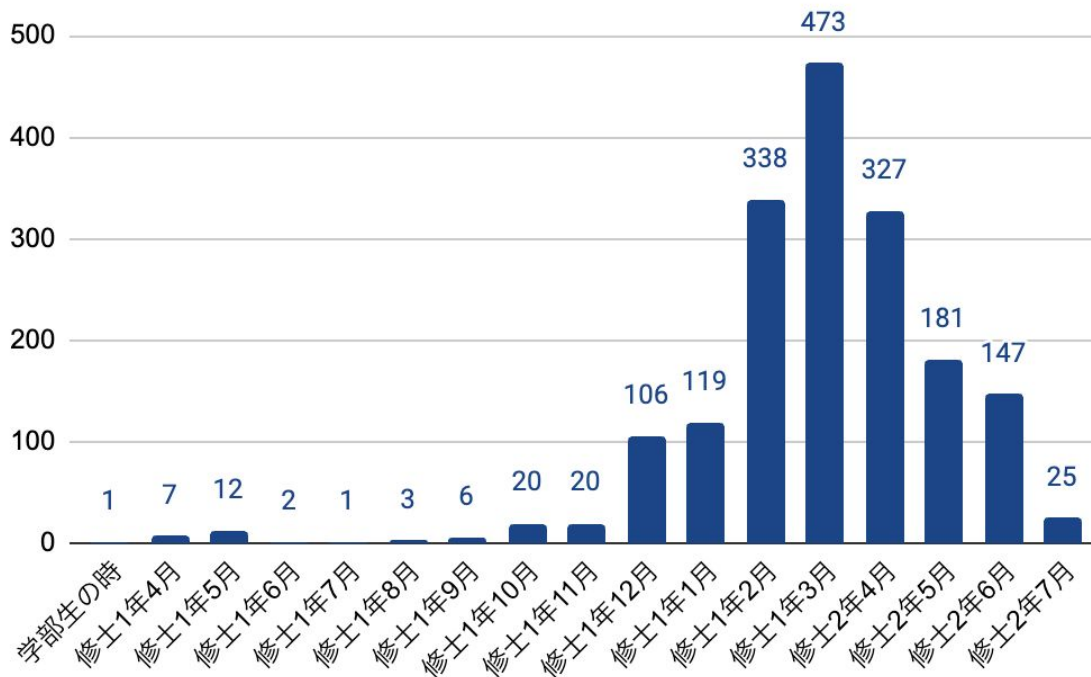
内定獲得時期も早期化 70%以上の学生が3月までに内定を獲得

いつ内定をもらいましたか？内定が複数で時期が異なる場合は複数ご選択ください。（複数選択可）



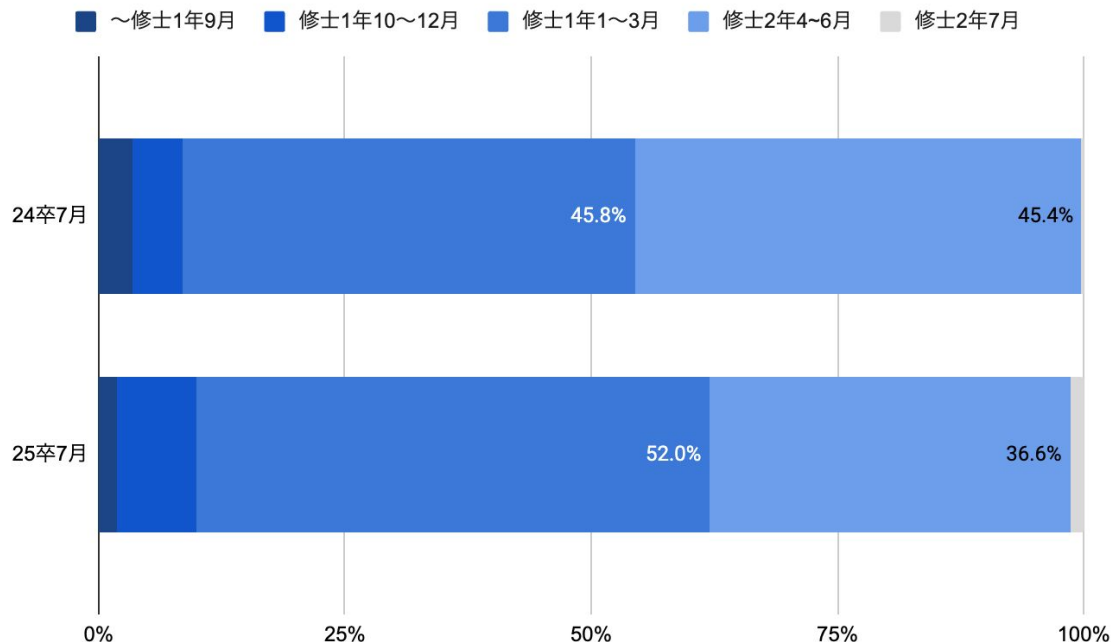
内定獲得ボリュームゾーンは2月～4月

入社予定の企業からの内定は、いつ頃もらいましたか？（単一回答）



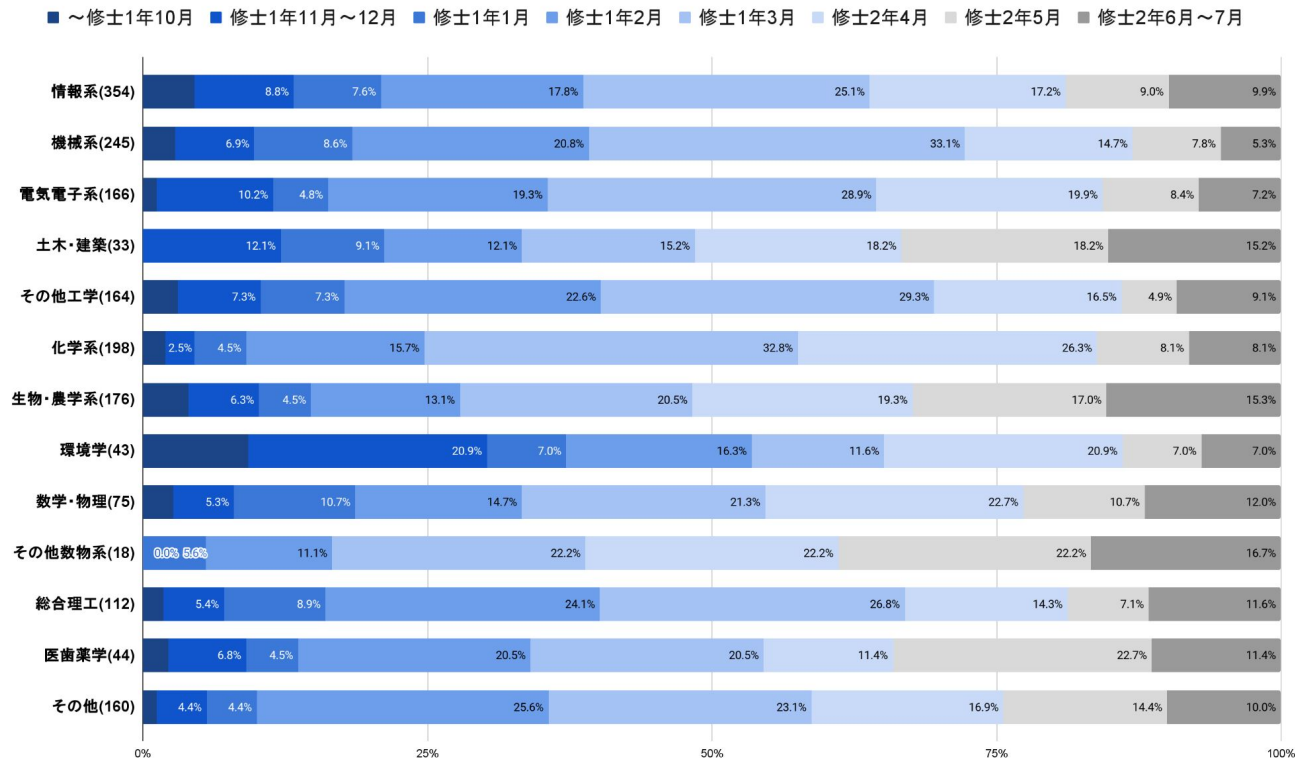
昨年より前倒しの傾向、特に2月のボリュームが増える

入社予定の企業からの内定は、いつ頃もらいましたか？（単一回答）



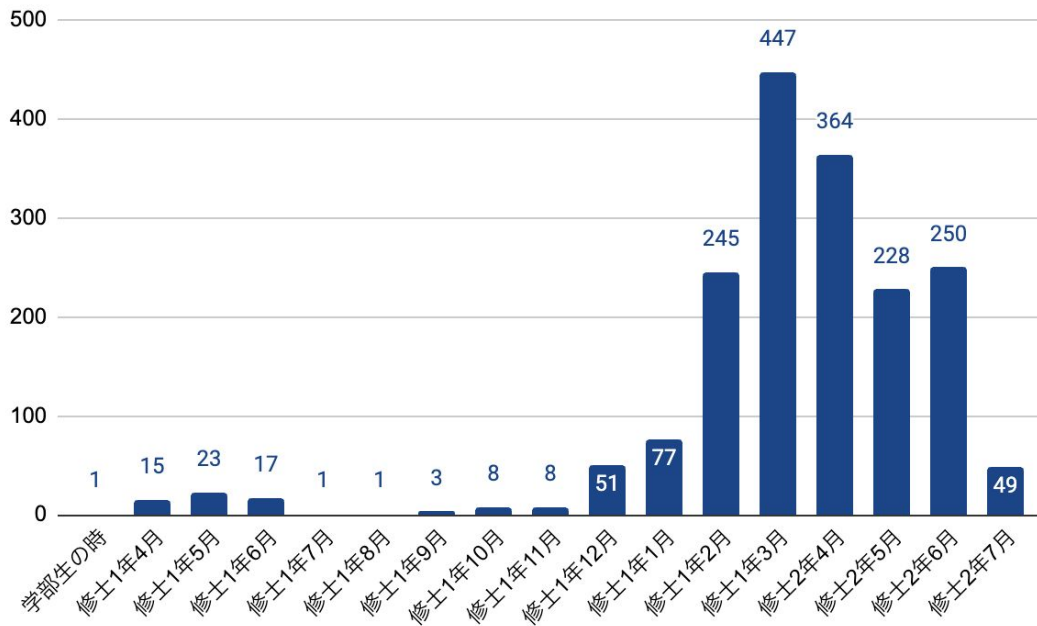
【専攻別】入社先企業から内定をもらった時期

入社予定の企業からの内定は、いつ頃もらいましたか？（単一回答）



内定承諾時期は6月までに意思決定をする ボリュームゾーンは獲得時期同様2～4月

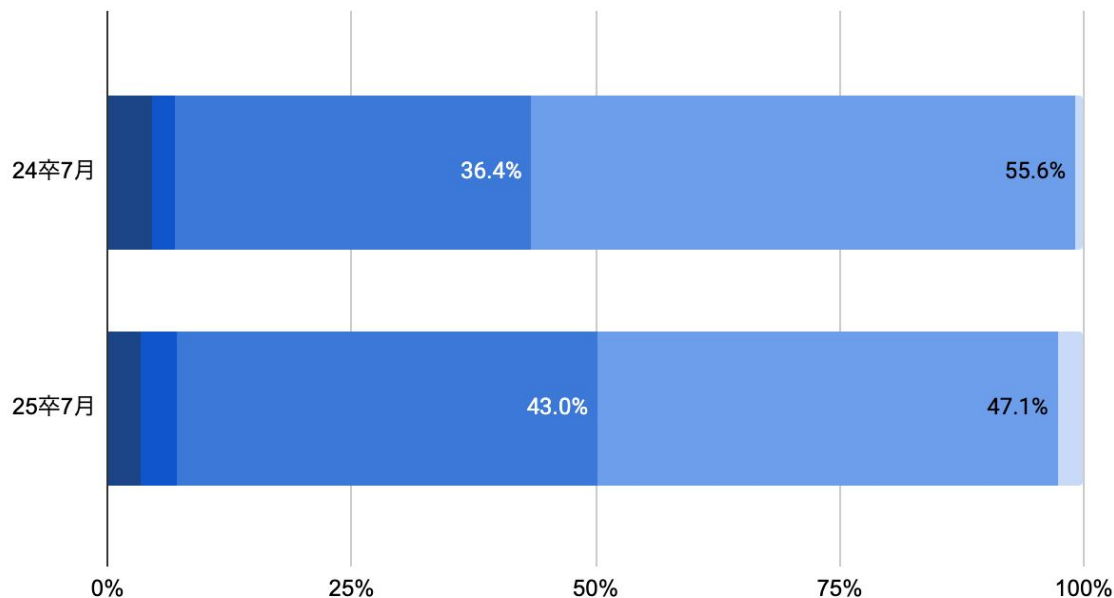
入社予定の内定先への内定承諾を決めたのはいつでしたか？（単一回答）



企業の内定出し早期化に伴い、意思決定もやや早期化

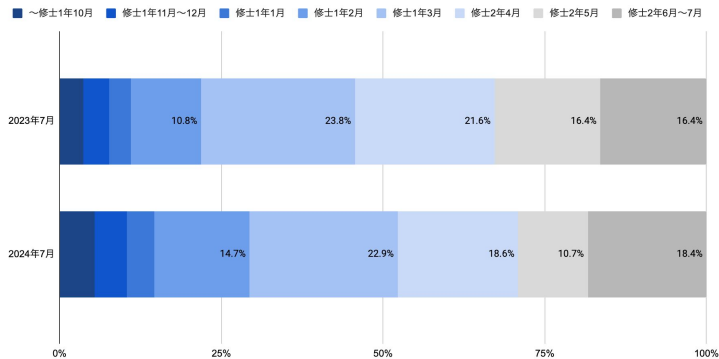
入社予定の内定先への内定承諾を決めたのはいつでしたか？（単一回答）

■ ～修士1年9月 ■ 修士1年10～12月 ■ 修士1年1～3月 ■ 修士2年4～6月 ■ 修士2年7月

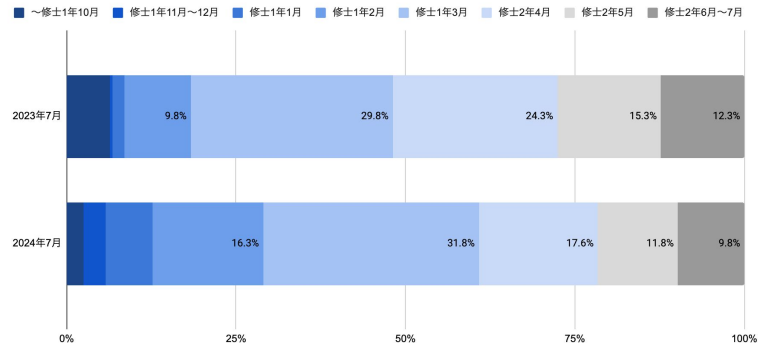


機械、電気電子、情報系は2月までの意思決定が過半数を上回る

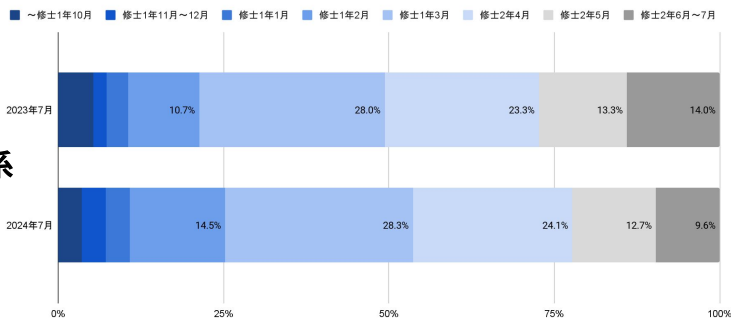
情報系



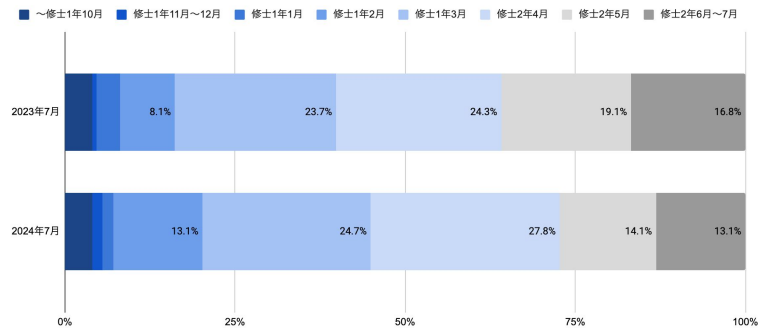
機械系



電気電子系



化学系



03.

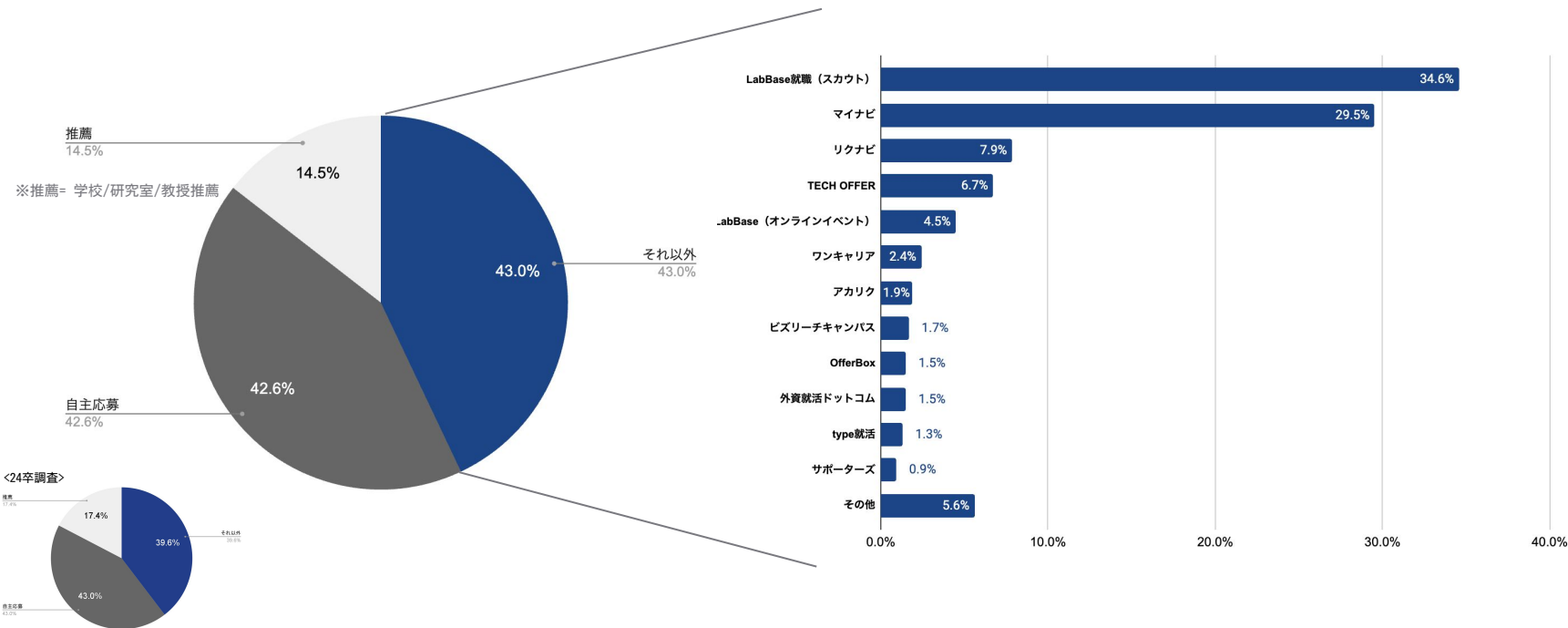
内定承諾した企業 との接触

- 内定承諾した企業と接触したチャネルは？
- 内定承諾した企業と初めて接触した時期は？

引き続き自分で選ぶ就職活動の傾向は加速

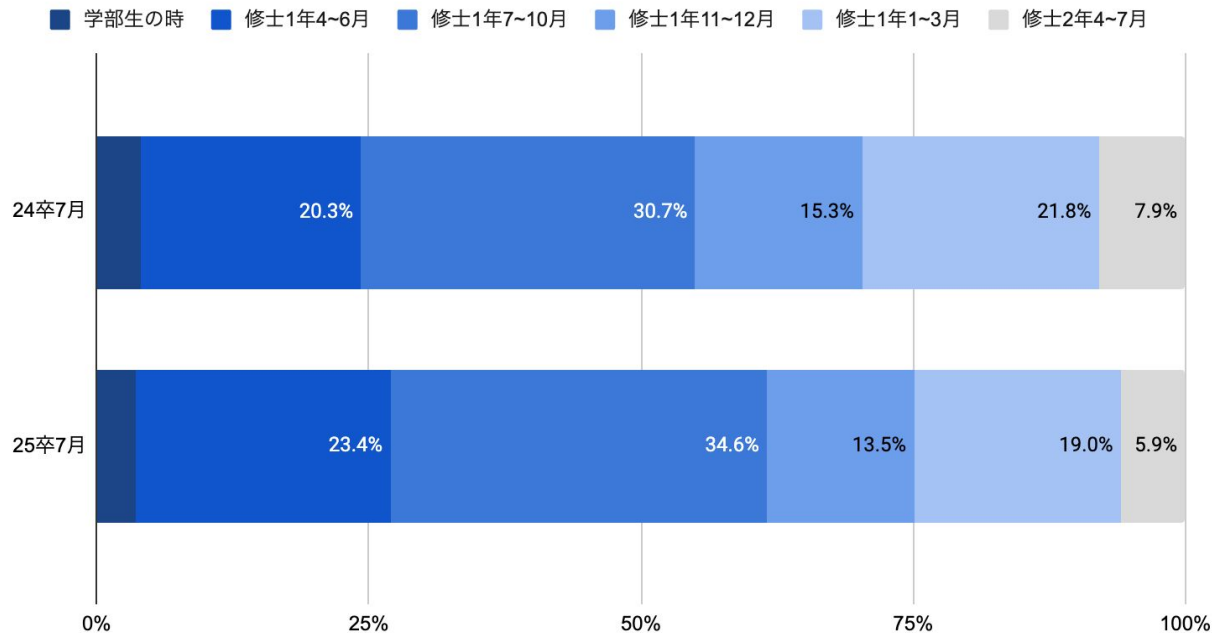
推薦での内定承諾が2.9pt減

入社予定の企業との接点に該当するものをお選びください。（単一回答）



企業の夏季インターンシップ注力傾向に伴い、接触時期も早期化

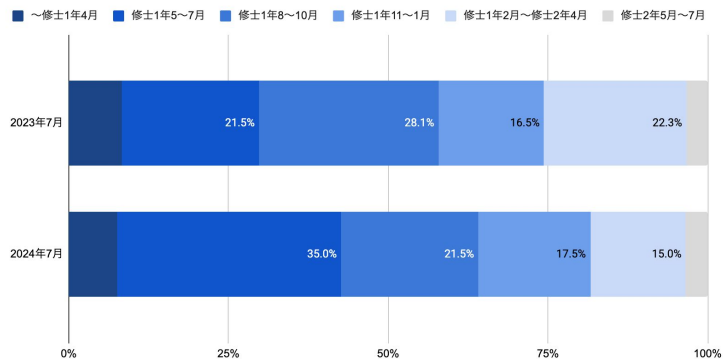
入社予定の会社と初めて接点のあった時期をお選びください。（単一回答）



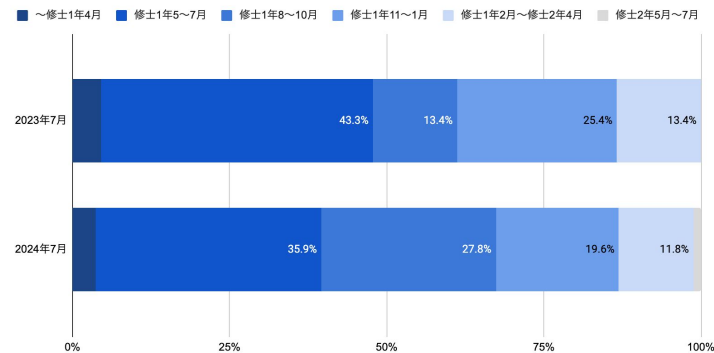
【専攻別】内定承諾した企業と初めて接触した時期（情報系・機械系・電子電気系・化学系）

接触時期は専攻によりやや異なるが、夏インターンまでの接触が主流

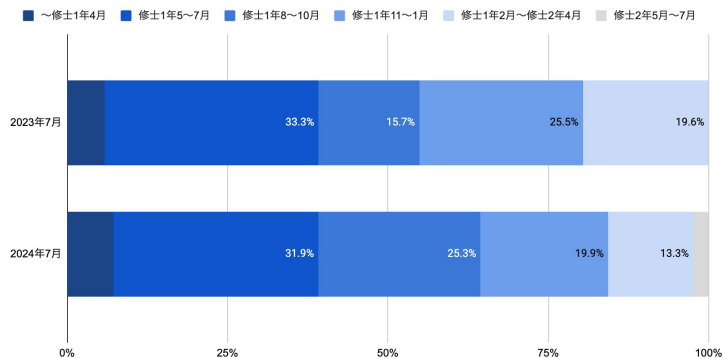
情報系



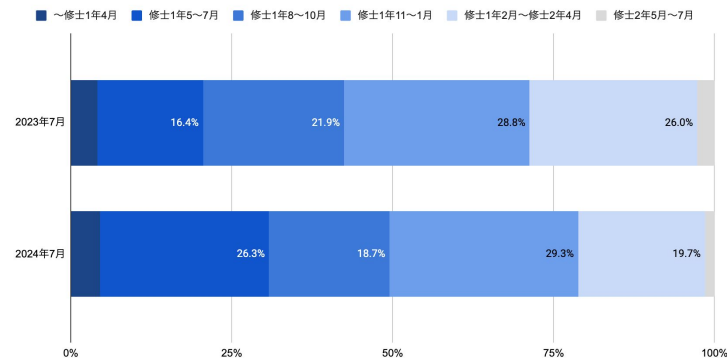
機械系



電気電子系



化学系



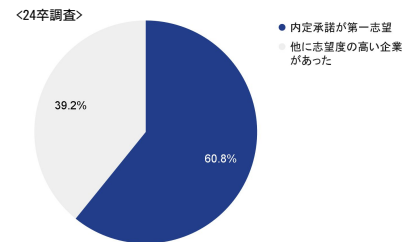
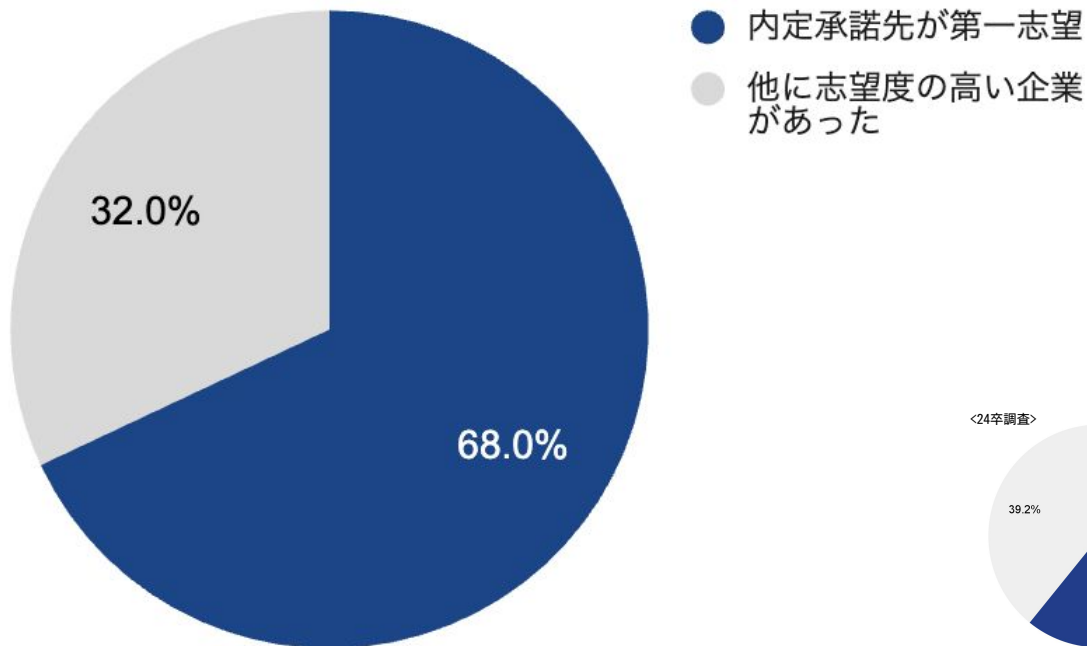
04.

内定承諾に 影響する要素

- 第一志望の企業へ入社しているのか？
- 承諾を決定する上で重要な要素は？
- 内定先のインターンシップへの参加率は？

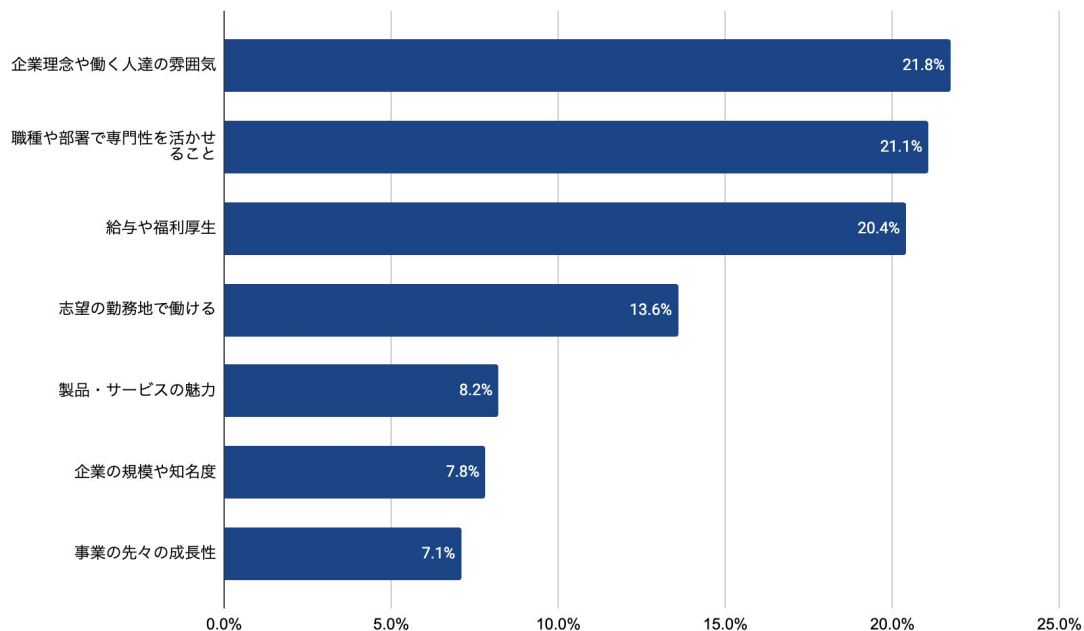
昨年よりも第一志望への内定承諾傾向は加速

入社予定の内定先よりも志望度の高い企業はありましたか？（単一回答）



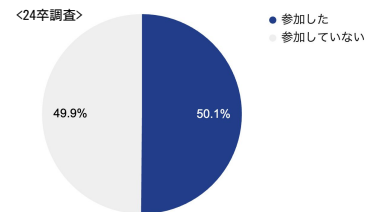
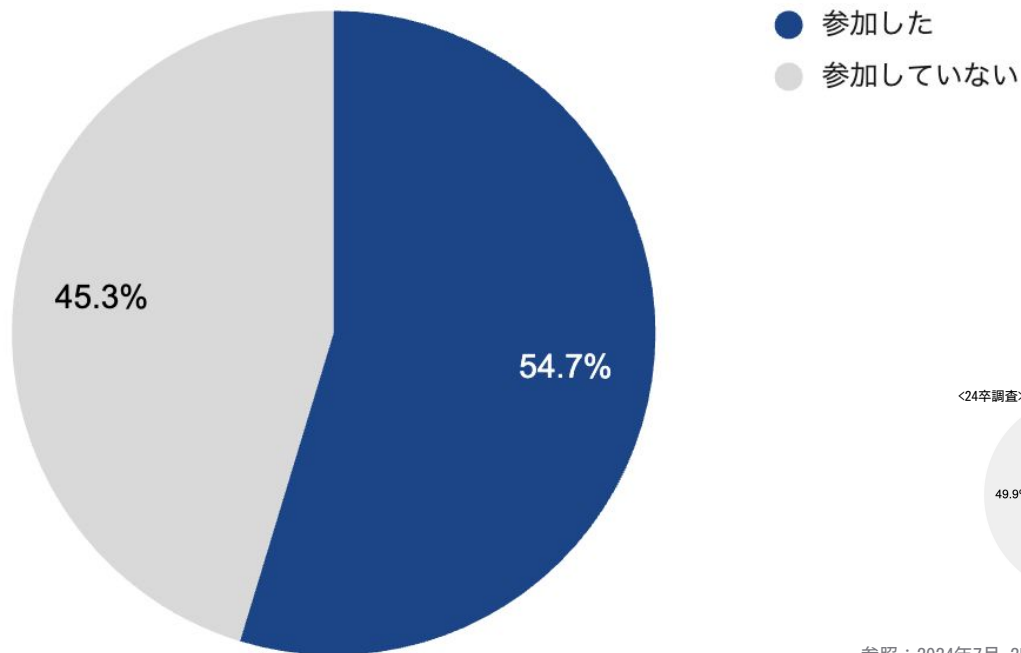
「どんな人」と「どんな仕事」が「どんな環境・待遇」で できるかが重要

内定承諾先を決定する上で重要だったものを、各内容に重要度を選択する形でお選びください。（選択式グリッド回答）



インターンシップの重要度がより増す結果に 早期接点の傾向を象徴する様に内定先へのインターン参加率は増加

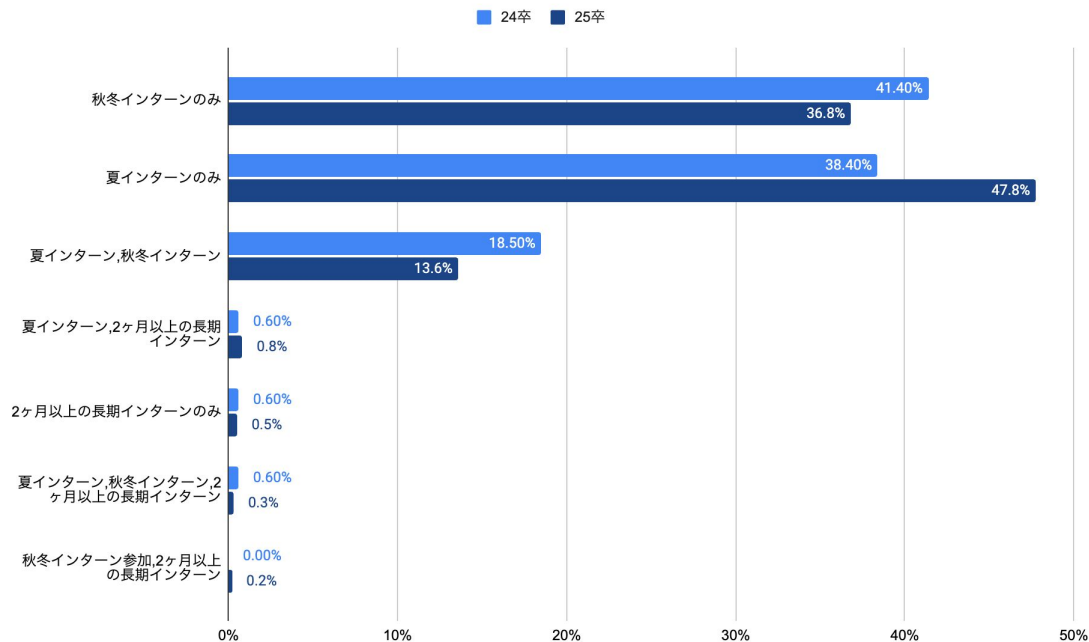
入社予定の内定先のインターンの参加についてお選びください（選択式グリッド回答）



参照：2024年7月 25卒理系院生1,979名 就活動向調査（n=1,788）
※選択式グリッド回答の結果をユニーク集計

特に夏のインターンシップがより重要に 夏インターンの参加率が昨年比で約10pt増

入社予定の内定先のインターンの参加についてお選びください（選択式グリッド回答）



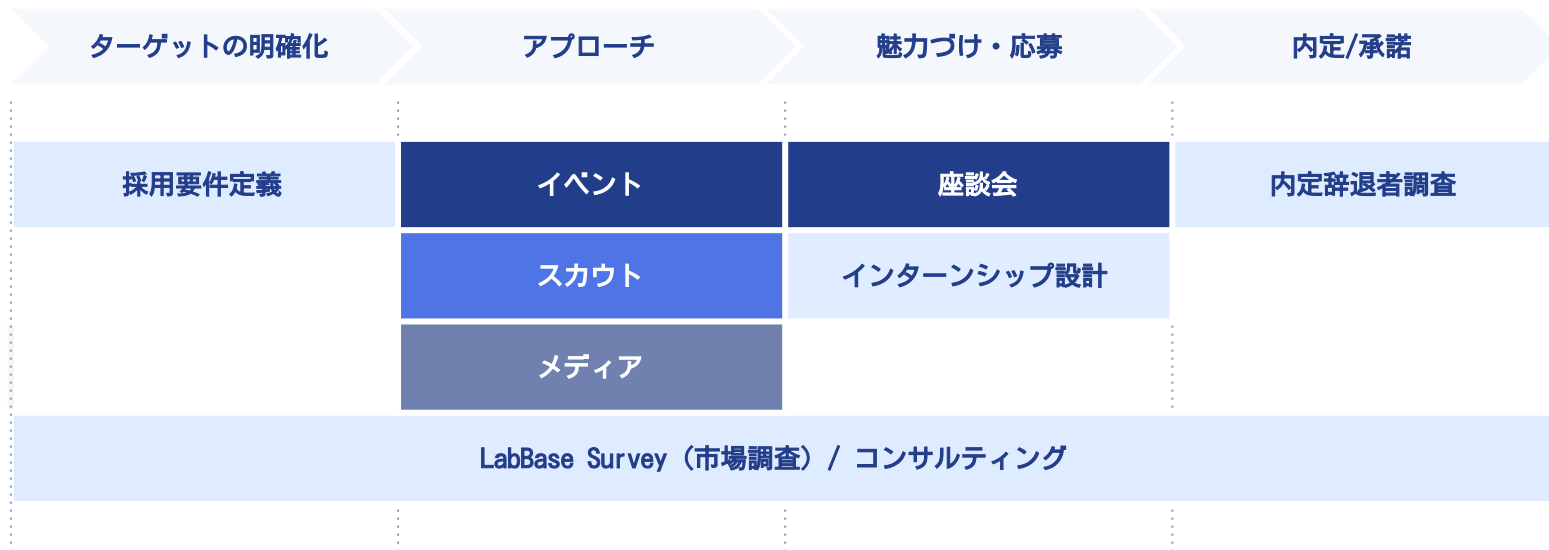
参照：2023年7月 24卒理系院生1,977名 就活動向調査（n= 674）

参照：2024年7月 25卒理系院生1,979名 就活動向調査（n=1,788）

※内定承諾先のインターンへ参加した学生の回答のみ抜粋

LabBase 就職

母集団形成（認知形成）から魅力づけ、そして内定承諾まで、
一貫して理系採用のご支援をしております

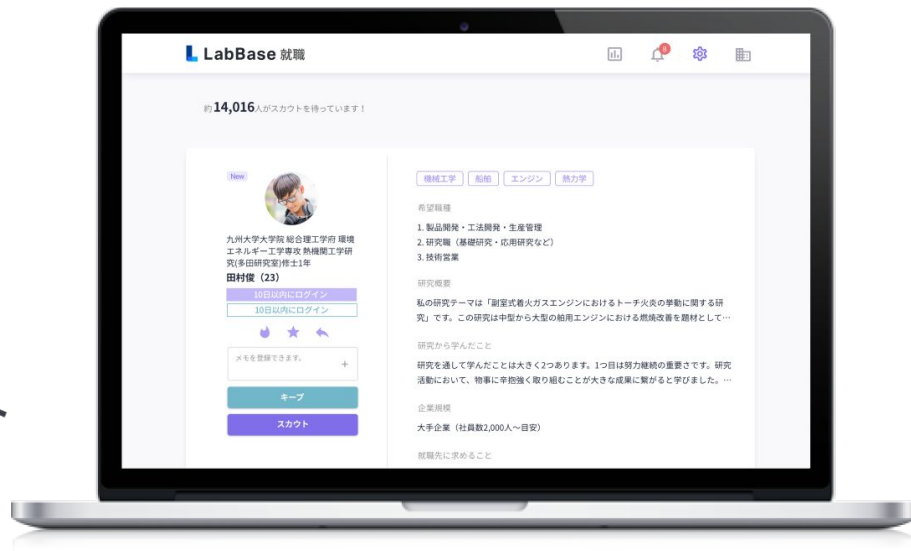


LabBase就職は学生の研究内容やスキルを見て、気になる学生に企業から直接スカウトを送ることができる
理系学生に特化したダイレクトリクルーティングサービスです

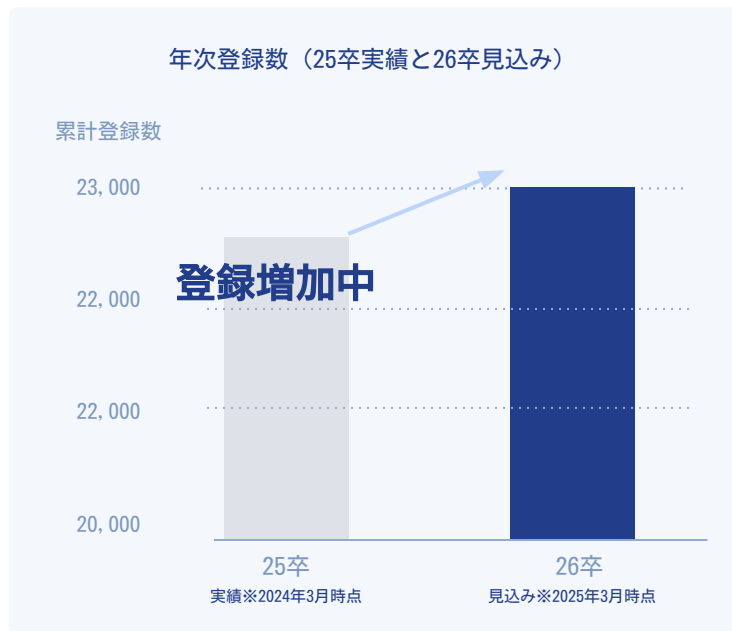
理系新卒採用

LabBase 就職

優秀な理系学生に直接スカウト
専門性の高い学生もLabBase就職ならダイレクト



国内理系院生の登録シェア率は約50%。専門性の高い多様な人材が在籍している

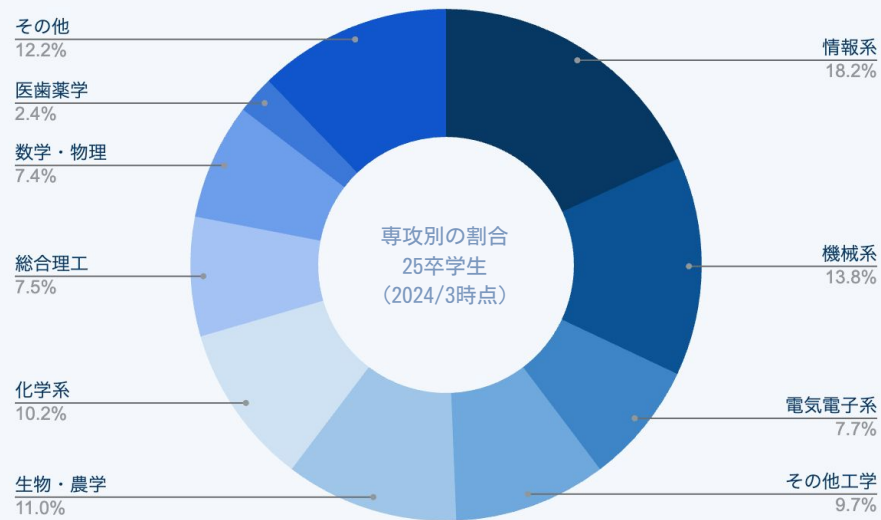


26卒理系学生
約**2.3**万名
が登録見込み

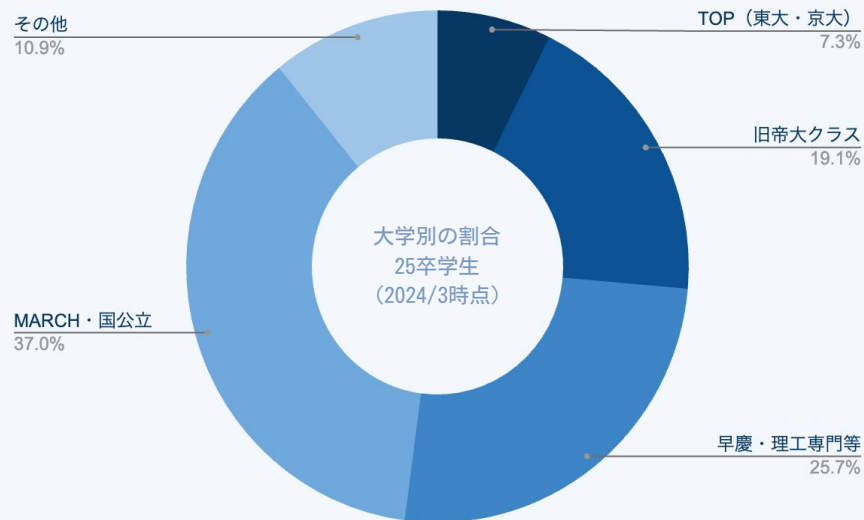
国内理系院生の
約**50**^{※1}%
が登録

機電・情報系を中心に、地方国公立以上の理系学生が登録

機電・情報系を中心に、幅広い専攻の学生が登録



MARCH・国公立以上の学生が80%超え



業界・規模問わず700社以上のお客様にご利用いただいております

TOYOTA

Panasonic

DENSO
Crafting the Core

DAIKIN

POWER EVOLUTION
YAMABISHI

SEGA®

FUJIFILM

TEIJIN

NTT

BOSCH
Invented for life

三井化学

Sky

RENESAS

ACCESS™

握りだそう、自然の力。
Calbee

HUAWEI

YUMEMI

muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

阪急阪神ホールディングス株式会社
Hankyu Hanshin Holdings, Inc.

OLYMPUS

SHIMIZU CORPORATION
清水建設

BraInPad

NACHI
株式会社 不二越

NKC

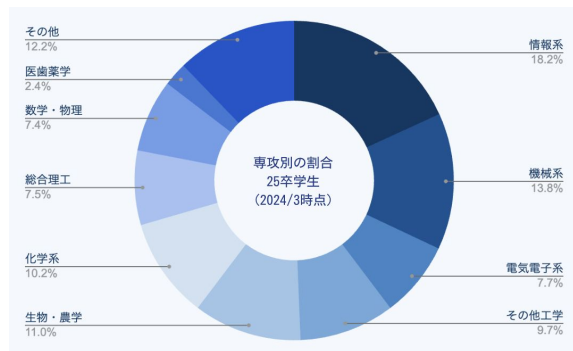
SCSK

GLORY

モリタウ

KONICA MINOLTA

企業の認知度に依存しない理系採用を実現します



多様な理系学生が登録

累計学生登録数は70,000名以上[※]
全国の理系学生が登録

※ 2024年4月時点



高い返信率

平均スカウト返信率40%を実現[※]

※2022年4月1日時点



理系特化の充実したサポート

理系採用ノウハウやスカウトの振り返り等、
弊社コンサルタントがサポート

研究の力を、 人類の力に。

Empowering Research, Empowering Humanity

研究エンパワープラットフォーム

LabBase

株式会社LabBase

所在地：東京都港区西新橋一丁目1番1号 日比谷フォートタワー10F

設立：2016年9月23日

社員数：106人（2023年4月時点）

資本金：613, 130, 500円（資本準備金含む）

代表



株式会社LabBase 代表取締役CEO

加茂 倫明

1994年京都生まれ。大学勤務者の両親を持ち、幼少期より数学者を志す。東京大学理科二類入学後、研究領域の課題を目の当たりにし、国内外のベンチャー数社での長期インターンを経験後、東京大学工学部在学中の2016年に株式会社LabBase（旧POL）を創業。科学と社会の発展に世界で最も貢献する会社を目指し、研究エンパワープラットフォームを創造中。

事業内容

理系学生及び中途技術者の採用支援

 LabBase 就職

 LabBase 転職

 LabBase キャリアイベント

受賞歴／掲載実績

- NHKニュース7ノーベル賞特集にて紹介
- テレビ東京 WBSにて紹介
- 東洋経済「すごいベンチャー100」選出
- 「TechCrunch Tokyo 2018」受賞

ご利用方法や導入事例はWEBサイトでもご確認いただけます

お電話やWEBサイト上のお問い合わせ窓口より、お気軽にお問い合わせください。

▼ 資料ダウンロード



資料ダウンロードはこちら

<https://business.labbase.jp/downloads/>

LabBase就職をはじめて知っていただく方に向けて、
わかりやすいサービス資料や理系学生に詳しくなれる
お役立ち資料をご用意しています。

▼ お問い合わせ



お問い合わせはこちら

<https://business.labbase.jp/contact/>

03-6684-1539 (10:00～19:00)

お電話やWEBサイト上のお問い合わせ窓口より、
お気軽にお問い合わせください。